

宇宙安全保障構想の概要（案）

令和5年5月

内閣府 宇宙開発戦略推進事務局

宇宙安全保障構想策定の背景

国家安全保障戦略における記載

IV 2 (4)ウ 宇宙の安全保障に関する総合的な取組の強化

経済・社会活動にとって不可欠な宇宙空間の安全かつ安定した利用等を確保するため、宇宙の安全保障の分野での対応能力を強化する。

(中略) このような**宇宙の安全保障の分野の課題と政策を具体化させる政府の構想を取りまとめた上で、それを宇宙基本計画等に反映させる。**



宇宙安全保障構想策定の趣旨

国家安全保障戦略に基づき、**宇宙安全保障の分野の課題と政策を具体化し、宇宙安全保障に必要な今後約10年の取組を明らかにする。**

1. 宇宙をめぐる安全保障環境の現状と課題

宇宙空間をめぐる競争

- 今日、**宇宙空間**は、外交・防衛・経済・情報、そしてそれらを支える科学技術・イノベーション力といった**国力をめぐる地政学的競争**の主要な舞台となっている。

宇宙空間における脅威とリスクの拡大

- 宇宙空間における**脅威**は急速に**拡大**。**物理的**に低軌道の**衛星を破壊**する直接上昇型衛星攻撃、サイバー攻撃などの**非物理的**な手段によって**衛星機能を無力化**する能力も開発・配備しているとみられており、平時、有事を問わず、多様な脅威が高まっている。
- 宇宙空間においては、各種の**リスク**も拡大。特に**スペースデブリ**及び**衛星**を含めた宇宙物体数の急増によって宇宙空間の**混雑化**が急速に進展。

民間イノベーションの進展

- **民間部門**における**宇宙技術**の**革新**が急速に進展。
- 宇宙ビジネスへの**新規参入**の加速によって、民間部門が**技術革新**をけん引。
- 政府の**宇宙安全保障上のニーズ**を民間部門に明確に**示す**ことにより、**民間投資**が**促進**され、開発ペースの迅速化や製造コストの低廉化を通じ、**産業基盤・産業競争力**が**強化**され、それが**宇宙安全保障**の一層の**強化**の実現に資することが期待される。

2. 宇宙安全保障における基本方針

宇宙安全保障上の目標

我が国が、宇宙空間を通じて国の平和と繁栄、国民の安全と安心を増進しつつ、
同盟国・同志国等とともに、宇宙空間の安定的利用と宇宙空間への自由なアクセスを維持すること。

第1のアプローチ
安全保障のための
宇宙システム利用の抜本的拡大

(宇宙からの安全保障)

第2のアプローチ
宇宙空間の
安全かつ安定的な利用の確保

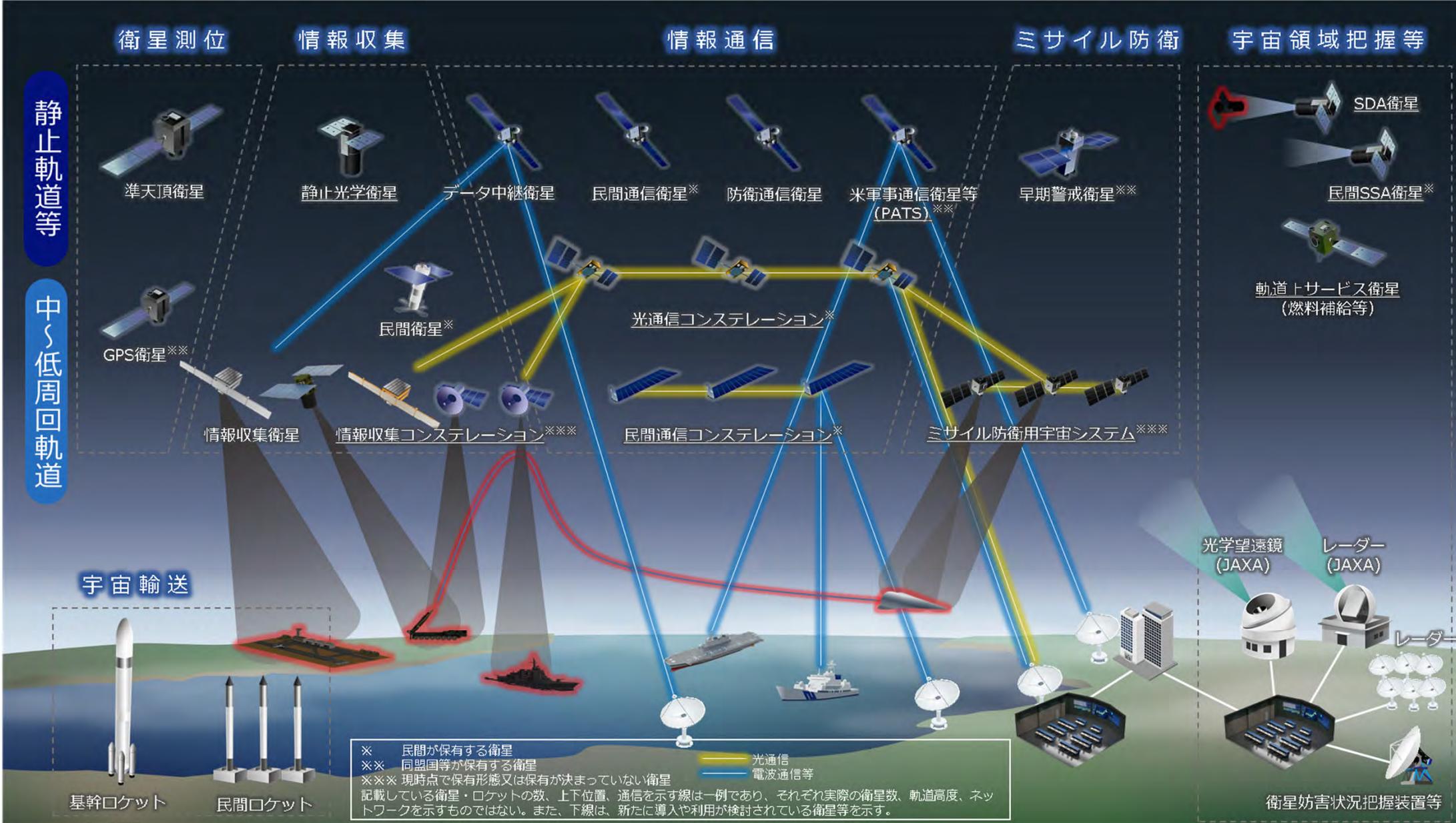
(宇宙における安全保障)

第3のアプローチ
安全保障と宇宙産業の発展の
好循環の実現

(宇宙産業の支援・育成)

3. 我が国の宇宙利用の将来像

【安全保障のための宇宙アーキテクチャ】



3. 我が国の宇宙利用の将来像

安全保障宇宙アーキテクチャの構築に当たり確保されるべき事項

- ① 衛星データの**互換性・相互運用性**と**サイバーセキュリティ・情報保全**
- ② 宇宙空間における**脅威・リスク**に対応し得る**抗たん性**
- ③ **民間サービス**を活用した**経済性**

4. 各アプローチの概要

第1のアプローチ	第2のアプローチ	第3のアプローチ
<ul style="list-style-type: none">① 広域・高頻度・高精度な情報収集態勢の確立② ミサイル脅威への対応③ 耐傍受性・耐妨害性の高い情報通信態勢の確立④ 衛星測位機能の強化⑤ 大規模・柔軟な宇宙輸送態勢の確立	<ul style="list-style-type: none">① 宇宙領域把握等の充実・強化② 長期的・経済的運用のためのライフサイクル管理③ 不測事態における政府の意思決定・対応④ 国際的な規範・ルール作りへの主体的貢献	<ul style="list-style-type: none">① 先端・基盤技術開発力強化② 重要技術の自律性の確保③ 官民の総合力による実装能力向上④ JAXAの役割の強化⑤ 民間主導の開発促進と政府支援の拡大⑥ 競争力のある企業への支援⑦ 技術成熟レベルに応じた投資・契約スキーム